

第5章 計画推進のしくみ

本計画では、第2期計画で取り組んできたまちづくりに関心のあるひとが交流する中京マチビトCafé★の開催など、従来までの取組も踏まえ、推進体制のレベルアップを図ることで、中京区でまちづくりに取り組んでいるひとや組織の輪をつくり、互いの交流・連携・協働の取組を広げていきます。

具体的には、フューチャーセンターの中京区版である「中京クーチャーセンター★」の機能を拡大することにより、地域課題の発見や課題に取り組む担い手の発掘を強化し、多様な主体を巻き込み、対話や協働を促すことで、新しいアイデアやしくみ、プロジェクトを立ち上げ、本計画の推進をめざします。

また、本計画の実現を着実なものとするため、自治連合会をはじめとした区内でまちづくりに取り組んでいる関係団体で構成する「中京区基本計画推進会議」で進ちょく管理を行います。



中京クーチャーセンター

近年、新たなアイデアや問題の解決手段を生み出すしくみとして、フューチャーセンター (Future Center) が注目されています。中京区でも、多様で複雑化する課題に対応していくため、中京区のフューチャーセンターとして2016年に設置しました。これまで「子育て支援」や「居場所づくり」、「移住者支援」など、さまざまな相談がもち込まれています。

★中京マチビトCafé P20参照

新たな計画推進のしくみ

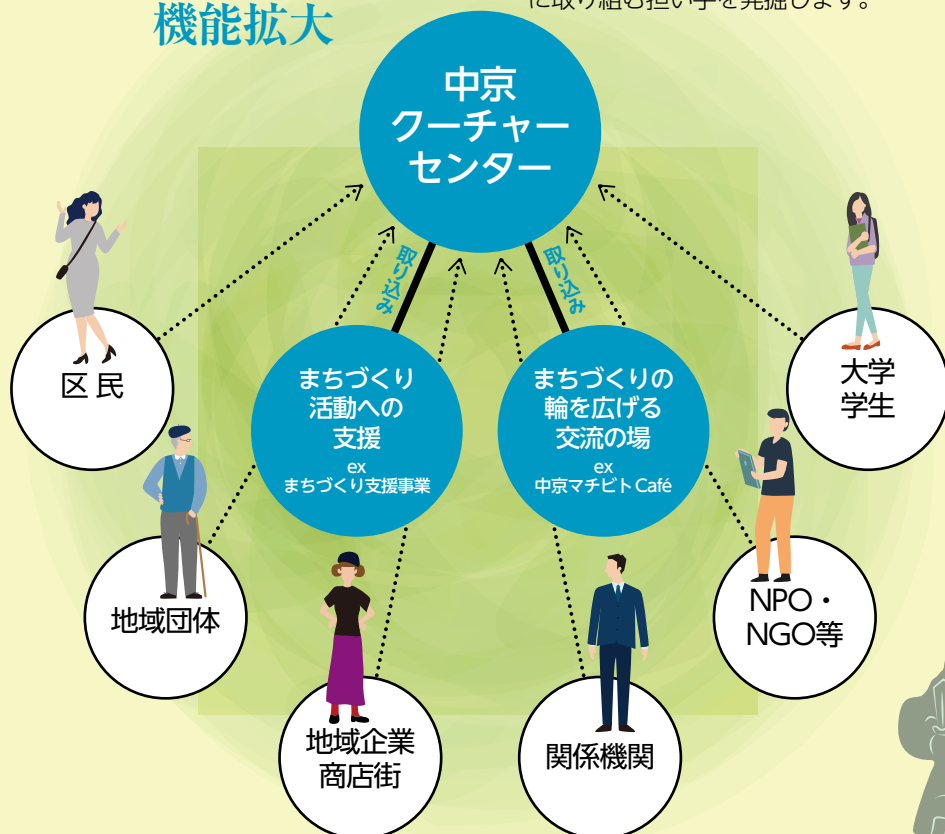
ステップ1 発掘

クーチャー
センターの
機能拡大

【役割1】

地域課題の発見と担い手の発掘

- まちづくり活動への支援や交流の場をクーチャーセンターのなかに取り込み、さまざまな個人・団体の取組等にアプローチすることで、クーチャーセンターの機能を拡大し、地域課題の発見や課題に取り組む担い手を発掘します。



対話の場を
開く

ステップ2 対話

クーチャー
セッション



中京クーチャーセンターの3つの役割

中京 クーチャー センター

1 地域課題の発見と 担い手の発掘

中京のさまざまな地域課題に気づき、
まちづくりに取り組む担い手を見つける

2 多様な主体の対話と 協働の促進

中京に住むひと・働くひと・学ぶひとなど、多様なひとと
団体を巻き込み、未来志向で対話し、協働を促す

3 新たなアクションの 創出

多様なひとが集まり、相互に刺激し合うことで、
新たなアイデアやしくみ、プロジェクトを生み出す

つまり、「対話の場」(クーチャーセッション)を通じて、区の
未来を一緒につくるアクションを創出しているんじゃない！



【役割 2】

多様な主体の対話と協働の促進

- クーチャーセンターにおいて担い手と課題解決に必要な地域資源(ひと・情報・場所等)をつなぎあわせるクーチャーセッション(対話の場)を開き、協働を促します。

プロジェクトを 創出

ステップ3 行動

【役割 3】

新たなアクションの創出

- 関係団体等の取組とも連携しながら、課題解決に向けたアイデアやしくみ、プロジェクトを生み出します。

